いわき明星大学薬学部
第16回生涯学習研修会

「臨床薬学からみた
近未来の高血圧医療」

講師

東北大学大学院薬学研究科　医薬開発構想講座　教授

今井潤先生

講演概要

本邦での降圧薬の導入は、１９５４年のレセルピンアプレゾリンの導入に始まる。５０年代はサイアザイド薬、６０年代は抹消交感神経遮断薬、中枢性交感神経遮断薬導入後、抗アルドステロン薬、ループ利尿薬、β－遮断薬、中枢性交感神経抑制薬、７０年代はＣａ－拮抗薬、８０年代はα１－遮断薬、ＡＣＥ阻害薬（Ｉ）、９０年代はＡＲＢ、今日はレニン阻害薬も上梓されている。

しかし治療抵抗性高血圧（白衣高血圧、低い薬物忍容性による不充分な降圧薬の効果など）、仮面高血圧と呼ばれる隠された高血圧の存在も近年降圧薬療法の問題として注目されている。家庭血圧測定、自由行動下血圧測定には、測定頻度が高い、再現性が良好であるなどに加え、時間の関数としての血圧情報などがある。また家庭血圧測定には、服薬アドヒアランスを改善させる効果や、生活習慣の是正を促す効果があり、高血圧管理にとって、極めて有効である。近未来の高血圧医療は、診察室血圧に依存するものではなく、家庭血圧に基づいたものになるであろう。

日時　2016年2月18日（木）19:00～20:30

会場　いわき明星大学薬学部棟　16-108講義室
いわき市中央台飯野5-5-1

日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師制度（集合研修１単位）、および日本病院薬剤師会生涯研修認定単位（1単位）の認定を受けることができます。
本講演会は「日病薬病院薬学認定薬剤師制度1単位(Ｖ－2:疾病・薬物療法)」を申請中です。尚、日病薬病院薬学認定薬剤師制度と日本薬剤師研修センターの認定単位は、希望されるどちらか1種類のみ取得できます。

主催　いわき明星大学薬学部
共催　(財)日本薬剤師研修センター、福島県病院薬剤師会、(一社)いわき市薬剤師会

問い合わせ
〒970-8551　いわき市中央台飯野5-5-1
いわき明星大学薬学部　教授　櫻井映子
Tel　0246-29-5401　　Fax　0246-29-5414
E-mail　eikos-im@iwakimu.ac.jp